

バナナホールに行くのは、生まれて初めてだったので、最初、どんなところだろうかととまどいましたが、まずまずの雰囲気、おちついて座って居ることが出来ました。

でも、私の感としては、ちょっと広いかな？っていうのがありましたね。なんせ私は、贅沢なことにかしぶちさんは下北沢ラ・カーニヤでしか見ていませんから。舞台両方が見渡せる一番前のテーブルに席を取って、ワイン片手に・・・といたいところだったんですけど、お子様はお子様らしく（もう24じゃぞ）カルピス片手にぶち様の登場を待ちました。

すると、照明が落ちて、金の髪の貴公子、かしぶちさんの登場！もう、めろめろになりつつ見えていますと、MCもなく、「Frou Frou」のイントロをかき鳴らすぶち様。2コーラス目の跳ねるFishの「Fish」が、ささやきアレンジになっていたのもその瞬間にもう卒倒してしまいそうでした（^^；

そのあと、自己紹介の軽いMC。

「どうも。かしぶち哲郎です。」

なんでも、大阪にきてこうやってライブをするのははじめてなので緊張してますと、おっしゃってました。

そして、「オブジェの花」の前にもMC。（今回MC多くって嬉しかったの）

「今から歌う歌は・・・ちょっと、いや、だいが・・・いやらしいたです。（^^；」

なんてことを言っていましたね。（^^）

で、「恋のためらい」のあとにもMCをはさみ、「S.e.x」「砂丘」はもちろんピアノ演奏でしっとり。背筋がゾクゾクして、たまらないですよ。

で、そのあと、「CLINIKA」の前には

「これは、僕が病院にはいってしまったので、こういう名前がついたんですが・・・」

なんて有名なお話もして下さって、『ゆらり、ゆらり』歌って下さいました。

で、私がおどろいたのは、その後の「永遠のエントランス」。まさか、まさかぶち様が！！
とっていたので、涙が出るほど嬉しかったです。なんでかって??そりゃあもう、あの
声でささやかれたら・・・・・・・・・・(´、)多少のアレンジはあったものの、あの素敵
な声で会場もうっとり・・・・。(私だけ?)

さて、そのあと連絡事項として、11月のマンガラライブなどの宣伝や、板倉さんに「な
にか連絡事項はないですか?」なんてふってみたいして、

板倉さん曰く「急にふらないでくださいよ・・・・(^^;」

で、ここでボアダムズの山本さん登場。おそろおそろ登場した彼は、雲の上の存在だった
かしぶちさんと同じステージの上に上がって、ほんとに緊張していたみたいでした。でも、
ギターの演奏は堂々としたもので、かしぶちさん、板倉さんと山本さんが見事なセッション
を繰り広げているのには、すごく感動しましたね。

山本さん曰く「ほんとに、こんな風にご一緒にできるとは思っても居なかったもので」

そんな山本さんに、ぶち様は「また一緒にやりましょうね。」さすが、貫禄あるう!

そして、「OK パドゥ」では会場とぶち様の大合唱。サビの部分をまずみんなで何度か
練習して、それから本番。こういう場をもうけてもらって、会場も大満足でした。

そして、アンコールでは「ひまわり」、それでも鳴り止まない拍手に、2回目のアンコール
で「D/P」。ステージと会場がしっかり溶け合ったサービス精神いっぱいの、ぶちライブ@
バナナホール、となりました。

最後に、終演後、お声をおかけくださいました主催者のろまんろぼっとさん、素敵なライ
ヴを企画していただきまして、ほんとにありがとうございました。

HP 掲載に当たりオリジナル原稿より改行位置変更させて頂きました。
(檜の会 KRAFT.WARTZ)